

子育て・教育

ネットで無料授業 サービス増加

教育現場でIT（情報技術）の活用が進む中、インターネットによる動画授業や個別指導などの無料配信サービスが相次いで登場している。家庭学習の習慣のない子供に学校の授業の予習を促したり、ネットの双方向性を活用して疑問に個別に対応したり。子供の学力向上が期待される一方、提供側は有料サービスの利用拡大につなげる狙いがある。

（日野稚子）

能動的学習に対応

「勉強ができる子供はどんな教材でも意欲的に学べる。家庭学習の習慣のない小中学生を対象にした教材です」と話すのは、デジタル教材開発を手がける「イー・ラーニング研究所」（大阪府吹田市）社長室長の森要さんだ。同社は今年8月、小中学生向けの無料ネット配信動画授業「スクールTV」をスタートさせた。

国語、算数（数学）、理科、社会、英語の5教科計273種類の教科書に沿って授業を進める。プロの塾

予習に活用、確認テストも

講師が内容を監修し、現役大学生が講師を務める。会員登録にメールアドレスが必要で、利用する子供の生年月日と学校で使っている教科書会社を選択する。

小中学校の教育現場では、子供自ら課題を発見して解決する「アクティブラーニング」（能動的学習）の導入が検討されている。グループワークやディスカッションなどを促す学習方法で、自主的に予習・復習することが必要にな

る。スクールTVでは、こうした動きに対応。小学5年の算数の立方体や直方体の

体積の求め方を学ぶ授業では、公式の説明の後に問題され、しばらく時間を置いてから答えを解説する。時間を置くのは、子供に自分で考え、答えを導く時間を与えるためといい、「学校の授業の予習に役立つ内容になっている」とする。

配信している動画授業の本数は現在100本ほどだが、2千本まで増やす。今後は有料で問題集などの配信も行う予定だ。

環境格差を解消へ

「家庭教師派遣や個別指導塾を運営する立場で見ると、ネット配信の動画授業

はあくまでも「動画の参考書」という位置づけ」と説明するのは、トライグループ（東京都千代田区）専務取締役執行役員森山真有さんだ。

同社は今年7月、動画授業「Try IT（トライ・イット）」の無料配信を開始した。中学生の英語、数学、理科、社会の4教科で、単元別に学ぶ「通常学習編」と「テスト対策編」の2種類計1056本を用意。スマートフォンやタブレット端末、パソコンで視聴できる。プロの塾講師が15分程度の授業を行い、学習内容に沿った確認テストも無料だ。利用には名前や電話番号、居住する市区町村の登録が必須だ。

森山さんは「定期テストで平均点を取れるくらいの学力は付けられる。動画授業で、所得・地域格差や通学できないトラブルを抱える子供の問題を解消できれば」と期待を込める。

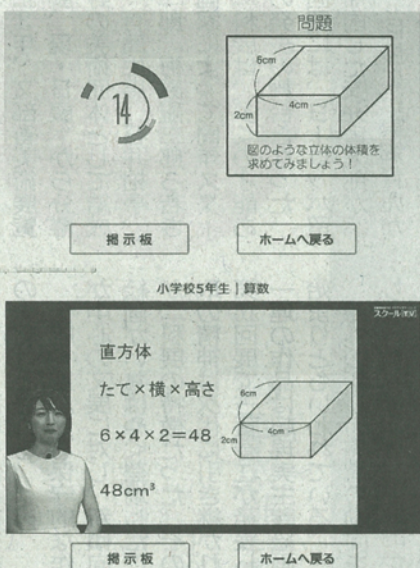
授業で分からないところがあつたら、スマホやタブレット

レットを振る（パソコン画面の場合は所定のボタンを押す）と記録として残る。所定のフォームから疑問を送信すれば、有料（税別500円）で添削指導を受けられる。高校生向けの配信も準備中という。

30分後めに返信

今月15日から始まる小中高校生を対象にしたオンライン家庭教師サービス「PASTA（パスタ）」。会員登録後、テキストやドリルなどの分からない問題をスマホなどで撮影して送信すると、30分後をめどに解説動画が返信される。解説するのは研修を受けた現役学生や大学院生だ。月3回まで無料で、サービスの開始前にもかかわらず、事前登録者は2週間で500人を突破した。

「海外に住む日本人会からも利用について問い合わせがある」と運営会社「コマンドエヌ」（京都市左京区）の広報担当、山下智士さん。同社は解説動画を蓄積し、地方の個別指導塾などへ有料で配信するサービスを計画しており、個人向けは当面、無料で提供するとしている。



「スクールTV」で直方体の体積の求め方を学ぶ小学5年算数の動画授業